

日中共創の新時代に挑戦——今こそ MIJBC で挑戦！

12月10日、山東省濰坊市政府主催による経済交流会「2020 日本・韓国・およびフォーチュングローバル 500 と山東省濰坊提携経済貿易協力推進会」が開催されました。

日本からは、杉本牧之原市長を来賓に、伊藤忠商事や川崎重工業の役員など多くの関係者がリモートで参加しましたが、孔鉉佑 駐日中国全権大使が東京の大使館から参加していることで、この会に対する官民両関係者の意気込みが伝わってきました。



山東省濰坊市政府が主催した「2020 日本・韓国・およびフォーチュングローバル 500 と山東省濰坊提携経済貿易協力推進会」で牧ノ原市を紹介した



本文著者が山東省濰坊市政府が主催した「2020 日本・韓国・およびフォーチュングローバル 500 と山東省濰坊提携経済貿易協力推進会」で講演

コロナ禍で日本と中国の間の行き来ができなくなっていますが、とても便利なオンラインによるリモート会議が一気に普及したことで、新たな交流スタイルができたことは不幸中の幸いです。

私は、静岡県牧之原市の自宅事務室から参加し、初代市長を務めた牧之原市が、「日本と中国との新しい交流のスタイル」として提唱してきた MIJBC (Made in Japan by China)について紹介させていただきました。

MIJBC の理念は、日本と中国の企業が、それぞれの持てる技術や資本や販路を出し合って、イノベーションを起こし、それぞれ企業成長を図ろうとするものです。

豊かな資金と14億人の消費者(販路)を持ち、さらに付け加えればやる気のある中国の皆さんと、長年の生産技術とノウハウを蓄積し、日本で開発や生産をやっている日本人が、日中共同の製品やサービスを創出し、「MIJBC」ブランドで世界史市場に展開していこうと言うものです。

最先端を目指している中国の企業にとって、新たな、あるいは知らなかった、技術やサービスが日本にまだまだあるかもしれません。一方、人口減が続き、地方経済が疲

弊した日本の地方と中小企業にとって、中国の消費者や資本は魅力です。

私は、市長であった6年前から、「日本の地方と中小企業、農業や健康・福祉・医療の現場を見に来て下さい。魅力的なものがあれば中国の皆さんに紹介してください！」と中国国内を行脚しました。

お手伝いいただいた皆さんは、長年にわたって日本企業の中国投資と事業展開を支えていた、日本語ができて、日本経済界と人脈があり、私の話に耳を傾けてくれた中国の友人の皆さんでした。

私は中国語を話せませんが、どこに行っても困ることはありませんでした。それは友人たちがみな日本語に堪能だったからです。

私たちが中国に出向き説明を繰り返したことで、興味を持っていただいた国家发展改革委員会の曹主任はじめ、中国政府や省・市・县政府と企業の皆さんが、続々牧之原市・静岡県にやってくるようになりました。



2017年3月、国家发展改革委员会曹主任一行人访问牧之原市

MIJBC の理念は、日本国内よりも中国の皆さんに共感を呼びました。

日本の製品は中国で評判ですが、日本の中小企業に「打って出て行く気概」が足りません。

そこで、昨年は浙江省寧波の皆さんが「MIJBC 寧波」を自ら設立してビジネス展開をしました。浙江省寧波で保税区和連携して、日本・静岡側から 40 社近い企業が参加し MIJBC 商談会が開催されました。



2019 年 4 月、MIJBC 寧波事務所揭牌

商品は寧波 MIJBC によって、3 か月の期間、移動展示を含めて中国国内消費者の反応を調査して、出展者に報告し、次の戦略に活かされようとしています。

昨年 8 月には、福建省福州市で、日本の政府機関である国際自治体化協会 (CLAIR) が主催する「第 18 回日中地域間交流推進セミナー」において「更なる地方協力と発展機会の共有」というテーマで講演をしました。

参加者は、日本側は各県の中国事務所の代表と日本からの知事や市長でした。中国側は、福建省関係者とすべての省の外事弁の担当者たちでした。日本の地方政府に対する関心の高さを実感できました。



2019年8月、福建省福州市で第18届中日地方交流促进研讨会を開催

この6年で、多くの皆さんにMIJBCの理念が理解され支持されてきました。

王毅外相が先日来日し、菅総理と面談しました。相互交流が動き始めます。

中国の皆さんにとって、日中共同ものづくり・共同研究開発プロジェクトである「MIJBC」は、中国企業の課題解決と、中国経済の構造改革や発展に貢献できるはずです。

元々、漢字や仏教から米も味噌もお茶も、さらには建築・工業技術など多くを中国から学びました。大切に守ってきた、例えば「中国から伝わった抹茶」が今中国で大ブームになっています。

日本で保存された中国発祥の製品・技術やサービスは、日本にたくさんあるはずです。漢字文化圏である「日中」が共創すれば、さらに素晴らしい世界展開ができるはず

です。

私たち MIJBC センターは、経験を活かし、職員の人材育成や交流プログラムの提案など、ファシリテーター役として、日中のやる気のある自治体や企業の方々とを結ぶお役をさせていただこうと思っています。

日本の長い伝統を持つ地方都市、そこに息づく中小企業の匠の技を見に来てください。今はコロナ禍ではありますが、オンラインによるリモート交流はできますので積極的に挑戦してください。お待ちしております！